

大分県

大分県立別府翔青高等学校

河野幸子先生



高1

▶ 改訂版 キクタン リーディング【Basic】4000

授業では発音を、自学ではリスニング力を鍛えられる

『改訂版 キクタン リーディング【Basic】4000』の採用を決めたのは、単語の意味と発音を効果的にインプットするためのトレーニングができると考えたからです。また、単語の音声CDが3パターンのチャンツのリズムに乗せて収録されているので、生徒たちが自学で使う際に単調な音読練習にならず、続けやすいだろうと思いました。この教材で英単語学習を進めていくうちに、見出し語が普段使っている教科書や問題集に多く登場することに気づき、生徒にとって必要な語彙がしっかりと押さえられているのだな、という安心感が生まれました。授業では、「学習モード」を自分なりにアレンジして使っていますが、その方法も生徒に定着してきたようです。授業では発音指導を中心にを行い、自学ではCDを活用して英文のオーバーラッピングとシャドーイングをするように指示。これによりリスニング力の強化を目指しています。

まずは見出し語の学習を一通り終わらせようと思いますが、その後は、4技能を統合した学習に活用したいと思っています。例えば、章末の長文問題「Review」の音声CDを聞かせて、聞いたことについて話した後、自分の意見を書くという具合です。習得した語彙を使って意見を述べさせることで、定着もさらに高まると考えています。

① 最も指導に役立ったこと

発音とつづりを一致させる指導ができ、リスニング力を伸ばせた

教材の使用方法について

○ 授業と自学で使用

毎授業の冒頭5分間で使用

テストの実施方法について

○ 1回の範囲、問題数

1Week分から10問出題

○ 問題の種類

ALTが読み上げた英単語をディクテーションさせ、日本語訳とともに書かせる問題



2017年12月現在